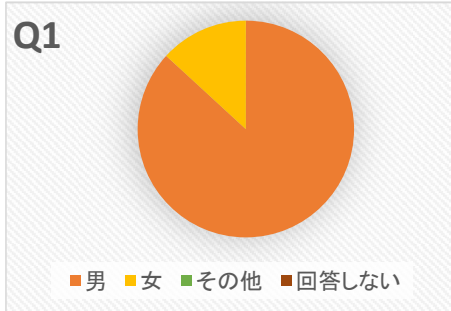


田辺市まちづくり市民カレッジⅢ「田辺の明日を考えるシンポジウム」
参加者アンケート集計結果

※参加者58名(アンケート回答者は53名)

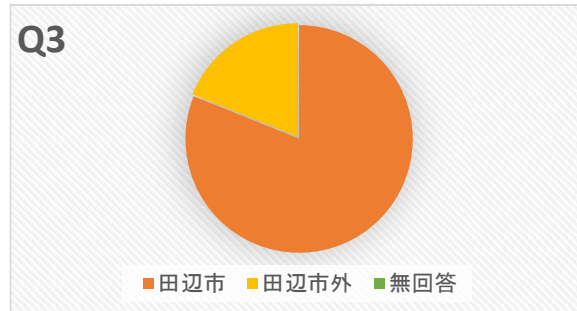
Q1. 性別

男	46	86.8%
女	7	13.2%
その他	0	0.0%
回答しない	0	0.0%



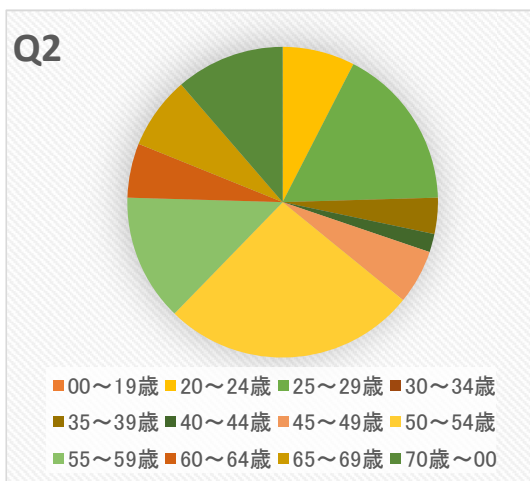
Q3. あなたのお住まいは

田辺市	43	81.1%
田辺市外	10	18.9%
無回答	0	0.0%



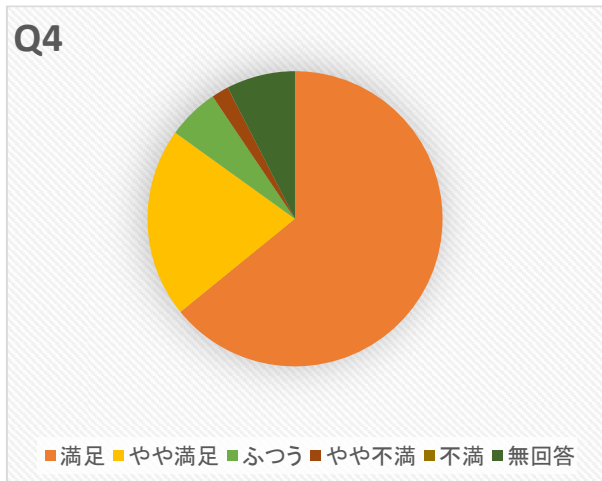
Q2. 年齢

～19歳	0	0.0%
20～24歳	4	7.5%
25～29歳	9	17.0%
30～34歳	0	0.0%
35～39歳	2	3.8%
40～44歳	1	1.9%
45～49歳	3	5.7%
50～54歳	14	26.4%
55～59歳	7	13.2%
60～64歳	3	5.7%
65～69歳	4	7.5%
70歳～	6	11.3%



Q4. 本日の講座はいかがでしたか

満足	34	64.2%
やや満足	11	20.8%
ふつう	3	5.7%
やや不満	1	1.9%
不満	0	0.0%
無回答	4	7.5%



Q5. 講座の満足度をさらに高めるには、どの部分をどのように改善すればよいか、ご助言をお願いします。

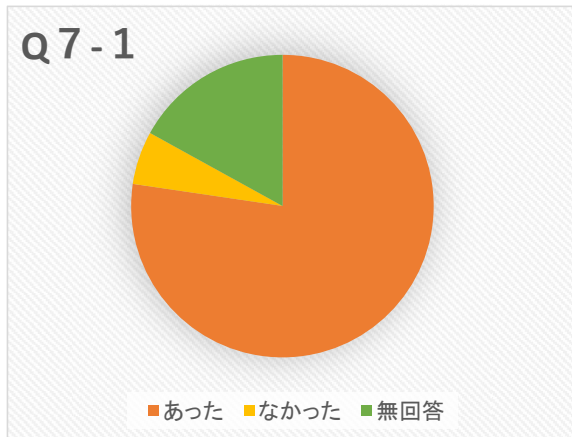
- ・ 講座のなかで出た「地元に戻ってきたい」または「田辺市に移住したい」と考える人達が増えるような具体的な作戦や取り組みがもう少し聞ければ良かったのではないかと思います。
- ・ 貴重な時間をありがとうございます。私の同年代でも地域の為に様々な方法で動いている人がいます。ぜひ、20代にもっとこの場を知って欲しいなと思いました。ターゲットを若く発信する方法も今後取り入れて頂きたいです。
- ・ 今日のテーマは「人づくり・地域づくり」かと思いますが、タイトルが「田辺の明日を考える」と大きすぎるので、もう少し的を絞った方が興味がわくように思います。
- ・ 発表内容の概要が分かるようなレジュメがあれば有難いと思います。
- ・ この内容で続けていただければと思います。
- ・ 自治組織にもっと参加を働きかけるのはどうですか。
- ・ 外部の人をパネリストに入れる。
- ・ 配信。
- ・ 西川先生もおっしゃっていましたが、YouTube等で誰でも見れるように出来ればいいのでは。
- ・ 講演者の準備不足？経験不足？改善以前の話。講演者の選別はしっかりした方が良い。老人の採用には注意してほしい。
- ・ コロナ禍で参加者数制限するのは致し方ないにしろ、ひろく市民や学生の参画も視野に今後考えた方がよろしいと思いました。
- ・ 第一部の事例発表はいかにテーマに沿って話してもらおうかということが重要ですね。難しいですが。
- ・ 質問等はアンケート用紙にと事前説明があつたにもかかわらず、喋りたがりの空気の読めない参加者にはしゃべらせないようにシャットアウトしても誰も反対派しないと思います。
- ・ 出来るだけ大勢の皆さんに参加してもらえたらいいのではないかと思います。
- ・ パネルディスカッションでも話はあつたが、この場所の話だけでおさまらないように町内放送やYouTubeで配信をしてもいいと思う。
- ・ 個人差があるかもしれないが、マイクの音量が高くて少し聞き取りにくい点があつた。
- ・ 田辺市だけでなく大塔・中辺路・龍神・本宮でも開催すべき。
- ・ 全体的に時間が少し長いように思う。
- ・ 西川先生のおっしゃられたように、Youtubeでの配信はすごくいいと思います。

Q6. 本日の講座で心に残った言葉(キーワード)があれば、お聞かせください。

- ・ 他人(相手)の良い点(所)を見るようにするという事。
- ・ マイナスのところを見ず、プラスのところを見つけることが大事。
- ・ 人がつながることで新しい価値が生まれる。
- ・ 頼まれごととは試されごと。
- ・ 田辺らしいまちづくりを自分らしい生き方で。
- ・ 地域づくり=人づくり。
- ・ 田辺らしい生き方を自分らしいやり方で。
- ・ 人づくりは地域づくり。
- ・ 失敗もない成功もない、楽しく。
- ・ 社会教育。
- ・ 地域の価値を高めていく。
- ・ 地域の課題をビジネスで解決する。
- ・ 役が人をつくる。
- ・ やり続けることが文化。
- ・ 思考は行動を変える。
- ・ ポジティブ。
- ・ 地域の価値は人であり、人づくりが重要である。
- ・ 人の良い所を見る。年を取ると人の悪い所ばかりが目につくので改めたい。
- ・ 人づくりは地域を作る。地域課題を解決していくには価値を高め、利益を上げていく。
- ・ 10年続ける。いいとこ探し。あかんとは言わない。
- ・ 人が残る理由。
- ・ 役割があるからそこに住む。
- ・ やり続けなければいつか成功する。自学自治。明るい明日を考える。田辺らしいの共有。
- ・ 失敗を失敗と捉えない。
- ・ 100年企業を目指す。継続は文化。
- ・ 判断基準を磨く。地域の価値=人、人づくりが地域の活性化につながる。
- ・ NPO、非営利団体。
- ・ まちづくり=人づくり→人材の発掘。
- ・ 共有、共感、共創。
- ・ 一点突破。
- ・ 「明るい」。話すことによって自分の耳が一番聞いている。背中を押す人づくり。
- ・ 出来ない理由を探すより出来る理由を探す。なぜそこに住むのか→仕事、生活、役割。
- ・ 地域課題の解決が地域の価値を高める。
- ・ 人に話をする事で自分も成長する。子供にわくわく。
- ・ 地域づくりは人づくり、「田辺らしいまちづくり」を「自分らしい生き方」で。
- ・ 役が人を作る、仕事・生活・役割。
- ・ 悲観と楽観。

Q7-1. 本日の講座を受けて、今後の活動や仕事に活かせるものはありましたか？

あった	41	77.4%
なかった	3	5.7%
無回答	9	17.0%



Q7-2. よろしければ、どのように活かすのかお聞かせください。

- ・自分の住んでいる地域の特徴を再認識。改めて考えなおす機会となった。
- ・役が人をつくるというところから、積極的に色々な役割を引き受けていきたい。
- ・頼まれることが多い地位にありますが、試されているという気持ちをもって勤しんでいこうと思いました。
- ・自分達の地域課題をなくすことを目的にせず解決をし、課題を長所に変えていけるようにしていきたい。
- ・地元の町内会や子ども会も加入者が少なくなり、活性化が課題となっており、大変参考になりました。
- ・具体的にはこれから模索していきたい。
- ・市民主体のまちを作るためにも失敗や成功に捉われず、様々なアクションをかけ、事業を実施することで地域のつながりを強固なものにし、人づくりにつなげていきたい。
- ・自分が今、取り組んでいる事の10年、20年先を見据えて考えていきたいです。
- ・ポジティブな姿勢の継続。
- ・やれる理由を考えます。
- ・家族、親戚、知り合いに田辺（ふるさと）に戻ってきてもらう。
- ・内容を同僚と共有。
- ・地域づくり一人の集まりの場を作る。
- ・出来るだけ多くの方に出会い、地域づくりについて意見を聞いてみたいと思います。
- ・金儲けをしながら持続を考える。
- ・人にやる気をおこさせる環境づくりを作っていく（目指す）。
- ・自分自身の文化はいくつか作ってきたが、これからは少しでも地域に生かせればと思う。
- ・生き方を前向きに考える。
- ・現在、組織のなかで働いていますが、今日の話のなかで背中を押すことが大切と思いました。課員が考えたなかでチャレンジしたいことが出てきたときにはぜひ後押ししたいと思います。
- ・これから考えていきたいと思います。
- ・夫と一緒にボランティア活動に参加するなど、自分らしい生き方を損なわない手段でまちづくりに関わっていきたい。
- ・自分の仕事で活かしていきたいと思います。
- ・背中を押す。
- ・失敗を失敗と捉えない…チャレンジ精神を忘れずに新しい取組、試みを行っていくこと。
- ・課題解決にビジネス。

Q8. ご意見やご要望、講座を受講しての感想など、ご自由にお書きください。

- ・ ナイスキャスティングだと思った。
- ・ 旧市町村の合併時の事について詳しく知りたい。
- ・ コーディネーターは大いにテンポもよく良かった。これからこういったタイプの人を活用して欲しい。
- ・ 今日の講座で感じたことをより多くの地域の方に感じてもらいたい。
- ・ 何かを起こす、続けるということは人生単位を超えて考えないといけないということに気づかされた。
- ・ 人と人のつながりが大事。
- ・ 続けてこそ文化という言葉に勇気づけられた。
- ・ 自分が現在の役職にふさわしくないと思っていたが、役が人を作るという言葉聞いて、とにかく役職をこなそうと努力することで自分を育てることが出来ると思いました。
- ・ こういう講座を年3回ぐらい文館などで開催して多くの市民に田辺を考える材料にしてほしい。
- ・ 2人の事例発表、パネルディスカッションと大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 人づくりは人がおのずと作るものであるから市長の言われた自学自治の場を提供することが重要だと思った。そういう意味でこういう機会はよい機会であると思う。多くの人に参加して欲しい。
- ・ 職場は田辺、住まいは白浜。田辺と白浜地域のつながり(関連性)を持った地域づくりなど考えてみたい。
- ・ 地域課題は多種多様である。それらに対応するためにはやわらかい頭(考え方)であらゆる人を巻き込んで取り組んでいく事が必要ではないかと考える。
- ・ 仕事も大事ですが、志を果たしていつの日にか帰らんとした終わりの住み方も大事だと思います。
- ・ 田上氏、後藤氏ともに地元に着した取り組みをコツコツとされていることに感銘を受けました。田辺市内の耕作放棄地は今後増えると予想されます。両名ともに耕作放棄地を資源と考えていることがすごいと思います。
- ・ 田上さんや後藤さんのような地域を何とかして盛り上げていきたいというような市民が一人でも増えていけば良いなあと思っています。
- ・ ありがとうございます。今後も期待しています。
- ・ 本宮町でもやってほしいです。
- ・ やっぱり来て良かったです。運営お疲れ様でした。社会教育委員会議が主催しているのがすごいですね。
- ・ 地域の課題をビジネスで解決する取組例を聞かせていただき大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 2部構成にせず、パネルディスカッションのなかに事例発表を組み込んだ方がスマートに進行するのではないのでしょうか。
- ・ ありがとうございます。田辺の良い所を自信をもって今後活かしていきたいと思う講座でした。
- ・ このような取組をしてくれる方が田辺市で多く出てくれるとよいと思います。また、これからも継続して取り組みを続けていただきたいと思います。
- ・ 事例発表やパネルディスカッションを通して、これからのまちづくりのヒントになるような言葉や行動を多く見ることが出来た。自分自身に何が出来るか考え、きっかけを探してこれからの田辺市に貢献出来るようにしたい。
- ・ コロナ感染が拡がるなかでも今日の開催は意義があったと思います。
- ・ 世代によって仕事のイメージが違うというのはその通りだと思いました。理解し合うための方法等考えようと思います。
- ・ 若者世代もまちづくりに関わっていくべきとは思いますが、仕事をして、家事をして、ストレス発散のために趣味も少しだけしてなどしていると、地域に関わる時間は無理をしないととれません。パネリストの方々の話を聞いて、パネリストの方々は仕事や趣味の延長線上でまちに関わっているのかなと感じました。今まちづくりに関わりがない(関わる時間の取りようがない)人達も、まちづくりに関わることでお小遣い程度でも金銭を得られたり、友達やパートナーや親子と一緒に参加できるなど、今ある生活の延長線上でまちづくりに関わる事ができれば、そのために時間を捻出する負担が多少でも軽くなるのかなと思います。
- ・ 広い田辺市なので、ネット配信とアーカイブ配信は、市全体で取り組んで行けばいいと思います。
- ・ 良い内容でしたので、人を集めることが大切だと思います。
- ・ とても人間味のあるというか、心に響く内容でした、ありがとうございました。